

平成25年度第2回千葉県県土整備公共事業評価審議会審議案件一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の理由	審議結果
1	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (海岸事業) 一宮海岸	一宮海岸では、利用や環境など地域のニーズを踏まえながら砂浜を維持・回復することにより、波浪等による海岸の侵食及び海岸保全施設の被災を防止し、背後地の人命及び財産を防護することを目的とし、侵食対策を実施する。 ・総事業費 115億円 ・事業期間 S58～H29 ・事業延長 6.4km	②	継続
2	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) (一)利根川水系 根木名川	根木名川は、富里市根木名地先に源を発生し、成田市内を流れて利根川に合流する一級河川であるが、流域では浸水被害が度々発生しているため、年超過確率1/50の規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、築堤、掘削等の河川改修を実施する。 ・総事業費 153億円 ・事業期間 S43～H48 ・事業延長 根木名川15km、派川根木名川3.3km、十日川3.1km	②	継続
3	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) (二)海老川水系 海老川・飯山満川	海老川は、船橋市金杉町、馬込町付近に源を発生し、支川の飯山満川等を合流し、東京湾に注ぐ二級河川であるが、流域では浸水被害が度々発生しているため、1時間当たり50mm程度の降雨に対する洪水を安全に流下させることを目標とし、築堤、掘削、調節池の整備等の河川改修を実施する。 ・総事業費 627億円 ・事業期間 S51～H42 ・事業延長 海老川2.7km、飯山満川2.8km	②	継続
4	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) (二)一宮川水系 一宮川	一宮川は、長柄町刑部地先に源を発生し、長生村一松地先で太平洋に注ぐ二級河川であるが、流域では浸水被害が度々発生しているため、年超過確率1/50の規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、築堤、掘削等の河川改修を実施する。 ・総事業費 109億円 ・事業期間 S46～H34 ・事業延長 7km	②	継続
5	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) (主)越谷流山線バイパス (仮称)新流山橋	慢性的に混雑している流山橋周辺地域の交通混雑の緩和、及びつくばエクスプレス沿線開発に伴う新たな幹線道路ネットワークの強化を目的とし、江戸川を渡河する橋梁を含むバイパス整備を行う。 ・総事業費 100億円 ・事業期間 H26～H39 ・事業延長 1,280m	①	新規着手が妥当

評価の理由:

- ①事前評価: 事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。
- ②再評価: 事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。
- ③事後評価: 事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。